

令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢1 安心して魅力ある「定住のしま」 ～分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり～	
政策4 ともにつながる参加と協働のまちづくり	本文P64～65

基本方針	地域の課題に対応するため町民と行政が一体となった協働のまちづくりを進めます。また、自治会活動やボランティア活動などのコミュニティ活動を支援し、特色ある地域づくりを推進します。
------	---

1-3-4-① 協働のまちづくりの推進	担当課	地域づくり課
---------------------	-----	--------

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○NPO法人や地域おこしグループ等の育成及び活動の活性化を図ることを目的として、まちづくり推進団体登録制度の周知を行うとともに、NPO・ボランティア団体の活動に役立つ情報の発信にも取り組みました。</p> <p>また、各地域の団体等が自主性を持って創意工夫のもと開催するイベントの実施を支援するため、補助金を交付しました。その結果、イベントの内容が充実し、地域住民の積極的な参加を通じて賑わいの場が創出され、地域の活性化が図られました。</p>		
SDGsとの関係性	  	<p>【選定理由】</p> <p>まちづくりへの住民参画を促し、災害に強いまちづくりを形成し、包括的で安全かつ強靱で持続的なまちづくりを推進する。</p>	
評価(問題点とその要因)	<p>○現在も活発な活動を継続している団体はあるものの、中心となっているのは高齢者に偏っているケースが多く、次世代の担い手の確保が課題となっています。また、活動内容が単発のイベントやプロジェクトで終わることが多く、多様な取り組みに発展しにくい状況です。</p>		
今後の取組方針	<p>○官民協働による地域づくりを実践するためには、各地域の課題や取り組み内容に応じた適切な組織体制の構築が不可欠です。併せて、その活動を担う人材の育成も重要であることから、地域・企業・各種団体等の状況を的確に把握し、必要な支援を行える体制を整えるとともに、関係機関と連携しながら課題解決に取り組めます。</p>		

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移					達成率	
					上段:目標値/下段:実績値	R2	R3	R4	R5		R6
1 まち	まちづくり推進団体登録数		団体	17	20 18	20 17	20 17	20 19	20 21	100.0%	
	《成果指標の進捗状況》					担当課	地域づくり課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										B
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	登録目標数を達成したまちづくり推進団体数においては、地域活性化を目的とした具体的な取組を実施し、地域住民や関係機関と連携・協働しながら、継続的な活動を展開してきました。また、町においても、協働によるまちづくり体制の構築・維持を図るため、団体数の増加を促す取組や、人材育成研修の実施・周知等の支援を行いました。										B
	・残された課題、KPI達成のため必要な取組										R4
	①課題										R5
	まちづくり推進団体の登録数の増加を図るためには、各団体の取組状況を的確に把握し、その活動内容や成果を広く周知していく必要がある。										B
	②必要な取組 ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組を記載										R6
	活動の更なる深化・発展を目指すには、地域住民をはじめ、企業や各種団体との連携・協働体制の構築に取り組む必要があります。										A

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	○地域の美化活動や花火大会、運動会などの自治活動の活性化を促すため補助金を交付し、地域活動を支援しました。また、地域からの要望に対応し、課題を把握し、解決に努めました。さらに、特定の地域に地域おこし協力隊を配置し、地域が抱える課題の解決に向けた取り組みを推進しました。
SDGsとの関係性	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>【選定理由】 まちづくりへの住民参画を促し、災害に強いまちづくりを形成し、包括的で安全かつ強靱で持続的なまちづくりを推進する。</p> </div>
評価(問題点とその要因)	○一部の地域では地域活動が継続されているものの、少子高齢化の進行により活動の維持が困難な地域も見られます。加えて、過疎化の進展に伴い小規模集落が増加傾向にあり、今後は自治活動の継続が一層困難となることが懸念される。
今後の取組方針	○多様化する地域課題に対応するため、地域の規模や特性、直面する課題に応じた柔軟かつ実効性のある体制の構築を支援し、適正な組織形成の推進を図る。併せて、地域リーダーの育成や地域おこし協力隊の配置等により、地域活動の活性化と継続的な取り組みを支援し、持続可能な地域づくりを推進する。

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
1 まち	地域コミュニティ自治活動件数(ソフト事業)		事業	14	30	30	30	30	30	43.3%
					12	10	10	12	13	
	《成果指標の進捗状況》					担当課	地域づくり課			R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									
	自治活動を支援する補助制度については継続的に周知を行っているものの、実際に活動を行う地区は限られており、特定の地域に固定化される傾向がみられる。その背景には、少子高齢化の進行により地域活動の中心を担う人材の高齢化が進み、次世代の担い手が不足していることがあり、これにより活動の継続や新たな展開が困難な状況となっている。									
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									
	①課題									
	従来の地域単位での自治活動の実施や継続が困難となりつつあり、活動の維持に課題を抱えている地域が増加している。									
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									
各地域の実情を的確に把握したうえで、過疎化や担い手不足など地域特有の課題に対応し、必要に応じて他地域や各種団体と連携することで、適正な規模で持続可能な自治活動が実施できるよう支援する必要がある。										

2次評価委員会からの評価・意見等

地域の自主活動の中心となる担い手が高齢化により不足し、自主的なコミュニティ活動を行えない状況になった地区が多数見受けられる。コミュニティ活動やまちづくり推進団体等への支援などは継続して実施しながら、地域課題解決のために外部から新たな人材を招き入れたり新しい取組の検討が必要です。また、町民と行政がそれぞれの役割と立場を理解し住民参画を促す協働のまちづくりを推進しながら特色ある持続可能なまちづくりの実現に向け取り組む必要がある。